



伊勢田 理沙
「黄金に輝く」8号



植野 綾
「願い」6号



宇田川 格
「Coffee Drip」10号



大路 誠
「収穫」4号



納 義純
「いい湯だな♪」10号



小野 彩華
「ゆきあかり」8号



亀山 裕昭
「ranch」10号



久保 尚子
「燈花」6号



佐藤 陽也
「積船」10号



津絵 太陽
「くれなずむ」6号



手嶋 かよ
「雨降る日に」4号



友清 大介
「in shallows」6号



白田 彩乃
「窓辺の花」8号



原 太一
「大リンゴ作戦」4号S



松本 実桜
「感情のケモノ」8号



丸山 一夫
「黒い静物」6号



宮本 絵梨
「ぼくの夏の終わり」6号
(製作途中)



吉間 春樹
「purple spark」6号



えいえいこうろく
英英紅緑

第46回

大正十三年創立



Since1924

白日会

会員選抜展

会期 / 2021年12月22日(水)~27日(月) <最終日は午後5時終了>

会場 / 日本橋三越本店 本館6階 美術特選画廊

ごあいさつ

おかげさまで、「英英紅緑」白日会会員選抜展も46回展を迎えることができました。長年にわたって会場を提供して下さる三越をはじめ、応援をしてくださった関係各位に心より感謝の意を表します。写実の王道を歩む作家集団として、100周年展を視野に入れて、会を挙げていっそう精進してまいります。今後とも、皆様の厳しい御指導と御鞭撻をお願いする次第でございます。新型コロナウイルスの収束を祈念いたしますと共に、皆様のより一層の応援を頂ければ幸いと存じます。

2021年12月 白日会会長 中山忠彦

【白日会】

1923年(大正12年)欧州からの帰途の船上で中沢弘光と川島理一郎が出会い、当時の混迷にあえぐ洋画壇を憂い、「友人同志を誘って相互研鑽の場とすべき正統な美術研究団体を結成しよう」と約束し、インド洋上で仰いだ白日に輝く太陽のように力強くとこの思いを込めて、1924年(大正13年)1月『白日会』が結成されました。本会は結成されて以来、一貫して写実を標榜し続けてきた歴史ある団体です。日ごと研鑽に励み、作家それぞれに、見えるものを通して、見えないものを描くこととしての「写実」を追求し続けています。

【英英紅緑】

英英は、相和して盛んなこと。英は花々でもあり、紅は自然の色です。花は紅、柳は緑。白日会の人たちが相和して色彩とりどりに燃えてあればいい…との願いです。



山本 眞輔
「famiglia」
H34×W35×D19cm



斎藤 秀夫
「薔薇」6号



峯田 義郎
「続く旅」
H14.5×W19×D12cm



MITSUKOSHI
日本橋本店
www.mitsukoshi.co.jp